

社会科学習指導案(略案)

○ 本時の学習 1年歴史「武士の台頭と鎌倉幕府」(第1/7時の学習)

(1) ねらい 武士の登場について理解するとともに、自分がその時代に生活しているとしたら武士と貴族のどちらの立場を選ぶか判断し、その理由を考えることができる。

(2) 準備

「考えつよシート①」、教科書、資料集、パソコン、プレゼンテーションソフト、プロジェクタ、スクリーン

(3) 展開

学 習 活 動	時間	学習活動への支援等
1 武士と貴族のどちらを選ぶか(本時のめあて)について考え、その理由を発表する。	5	<p><u>1</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○武士の登場について学習することを伝え、本時のめあてである「あなたがこの時代に生きているとしたら、武士と貴族のどちらを選びますか」を提示し、最初の考えを発表できる場を設定する。 ○貴族については、既習の知識の復習ととらえられるように助言する。
2 武士がこの時代に登場した理由を教師の解説から知る。	15	<p><u>2</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都・地方それぞれでの武士の登場について、整理して説明する。 ○成長した武士団の一部が、平将門の乱や藤原純友の乱などを起こし、それを鎮める役も武士が担っていたことを説明する。 ○平氏・源氏の勢力の台頭とともに、その力を利用して、白河上皇が新しい政治の形である院政を始めたことを説明する。
3 資料から武士と貴族の特徴をそれぞれ調べ、どちらを選ぶか自分の考えをまとめる。	15	<p><u>3</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○武士、貴族について資料からその特徴をとらえ、「考えつよシート①」に記入する際、その特徴を「衣」「食」「住」「仕事」等に分けてとらえるよう助言する。 ○最終的に武士か貴族かを判断させ、その理由についても自分で考え表現するよう説明する。 ○最初に考えた理由と調べた後の自分の考えを比較し、その考えの広がりや確認できたことを「考えつよシート①」に記入するよう指示する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>『本時の評価項目と規準』 (◆は「おおむね満足できる」状況 ◇は「十分満足できる」状況)</p> <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 課題について資料を基に考えている。 ◇ 課題について資料を基に多角的・多面的に考えている。 <p>【資料活用の技能、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 貴族・武士の生活の特徴を資料から選び出し、「考えつよシート①」に記入して自分の考えを表現している。 ◇ 貴族・武士の生活の特徴を資料から適切に選び出し、「考えつよシート①」に記入して論理的に自分の考えを表現している。 </div>
4 次時の学習への見通しをもつ。	15	<p><u>4</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次時から、思考支援ワークシート「考えつよシート」を用いて学習することを伝え、その基本的な活用法についてプレゼンテーションソフトや身近な例で考え方を示したプリントを活用して説明し、概要をつかませるようにする。 ○次時では、成長した源氏・平氏の争乱について学習していくことを説明する。

社会科学習指導案(略案)

○ 本時の学習 1年歴史「武士の台頭と鎌倉幕府」(第2/7時の学習)

(1) ねらい 平氏と源氏のそれぞれの立場を調べ、源平の争乱が始まった理由や平氏が滅ぶこととなる理由を理解して、平氏が滅ぼされないための平清盛へのアドバイスを考えることができる。

(2) 準備

「考えつよシート②」、教科書、資料集、実物投影機、プロジェクタ、スクリーン

(3) 展開

学 習 活 動	時間	学習活動への支援等
<p>1 平氏が滅ぼされないようにするためにどんなアドバイスを平清盛にするか。(本時のめあて)について考え、その理由を発表する。</p>	5	<p><u>1について</u></p> <p>○本時のめあてである「平氏が滅ぼされないようにするために、あなたなら平清盛にどんなアドバイスをしますか」を示し、数名の生徒に最初の考えを発表できるようにヒント等を与えて意見を引き出すようにする。</p>
<p>2 平清盛をはじめとする平家の繁栄とその他の武士の不満を教師の解説から知る。</p>	15	<p><u>2について</u></p> <p>○当時の武士が土地を有力者に寄進することで、力を伸ばしていったことを説明する。</p> <p>○平清盛が太政大臣として権力をにぎったことや、孫を天皇にすることでその地位を盤石なものにしたこと、また平氏一門を高い位につけたことを資料を活用して説明する。</p> <p>○利益のあまりない平氏以外の武士たちの不満を資料から気付かせるようにする。</p> <p>○源平の争乱によって、平氏が滅ぶことを地図資料により説明する。</p>
<p>3 資料から平氏・源氏それぞれの特徴を調べ、自分の考えをまとめる。</p>	20	<p><u>3について</u></p> <p>○平氏・源氏の特徴をまとめる際に、「考えつよシート②」を活用し、当てはまる項目に、資料から分かったこと、知っていることなどを記入するよう助言する。</p> <p>○初めて、「考えつよシート②」を活用するため、書き方が分からない生徒への机間指導を頻繁に行い、支援を行う。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>『本時の評価項目と規準』</p> <p>(◆は「おおむね満足できる」状況 ◇は「十分満足できる」状況)</p> <p>【思考・判断】</p> <p>◆平氏・源氏について調べて、その特徴について考えている。</p> <p>◇平氏・源氏について調べて、その特徴について多面的・多角的に考えている。</p> <p>【資料活用の技能・表現】</p> <p>◆平氏の失政についての資料を選択・活用して、「考えつよシート②」に自分の考えを表現できている。</p> <p>◇平氏の失政についての資料を適切に選択・活用して、「考えつよシート②」に論理的に自分の考えを表現できている。</p> </div>
<p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。</p>	10	<p><u>4について</u></p> <p>○それぞれ考えた理由について、多様な考えをもてた数名の生徒の「考えつよシート②」を実物投影機で映すことで、平氏が滅びないためのアドバイスに多面的・多角的な考え方があることに気付かせるようにする。</p> <p>○次時では、鎌倉幕府について学習していくことを説明する。</p>



社会科学習指導案(略案)

○ 本時の学習 1年歴史「武士の台頭と鎌倉幕府」(第3/7時の学習)

(1) ねらい 源頼朝により、鎌倉に幕府や政治の仕組みが作り上げられたことを理解して、幕府が鎌倉もしくは京都に開かれた場合を比較して、どちらに幕府を開くのが良いか自分なりの考えをもつことができる。

(2) 準備

「考えつよシート③」、教科書、資料集、パソコン、プレゼンテーションソフト、実物投影機、プロジェクタ、スクリーン

(3) 展開

学 習 活 動	時間	学習活動への支援等
1 京都と鎌倉のどちらに幕府を開くか(本時のめあて)について考え、その理由を発表する。	5	<p><u>1</u>について</p> <p>○鎌倉幕府について学習することを伝え、本時のめあてである「あなたなら、京都と鎌倉のどちらに幕府を開きますか」を示し、初発の考えを引き出すようにする。</p> <p>○京都に関しては、政治の中心が京都であったことなど、これまで学習した知識の中で本時のめあてをとらえさせるようにする。</p> <p>○鎌倉に関しては、小学校で鎌倉幕府の立地条件についての学習を終えており、小学校の旅行で実際に鎌倉を訪れている生徒もいるため、それらの知識を活用させて本時のめあてを考えるように助言する。</p>
2 鎌倉幕府の仕組みと、将軍・御家人の関係について教師の解説により知る。	15	<p><u>2</u>について</p> <p>○源頼朝が守護・地頭を全国においたことで武士政権が確立していった様子を資料を参考にして説明する。</p> <p>○将軍と御家人とは御恩と奉公の関係によって結び付いていることを「鉢の木」の話を例にして、御恩・奉公の内容を理解できるようにする。</p> <p>○御恩と奉公の関係によって、鎌倉幕府の危機であった承久の乱を乗りこえることができたことを北条政子の演説を例にして取り上げ、理解できるようにする。</p>
3 もう一度京都と鎌倉のどちらに幕府を開くか、資料からそれぞれの特徴を調べ、自分の考えをまとめる。	20	<p><u>3</u>について</p> <p>○京都・鎌倉の特徴をまとめる際に、「考えつよシート③」を活用し、当てはまる項目に資料から読み取ったことを記入するよう指示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>『本時の評価項目と規準』 (◆は「おおむね満足できる」状況 ◇は「十分満足できる」状況)</p> <p>【思考・判断】</p> <p>◆京都・鎌倉について調べて、その特徴について資料を基に考えている。</p> <p>◇京都・鎌倉について調べて、その特徴について資料を基に多面的・多角的に考えている。</p> <p>【資料活用の技能・表現】</p> <p>◆京都・鎌倉の資料からその特徴を選び出し、「考えつよシート③」に自分なりに表現できている。</p> <p>◇京都・鎌倉の資料からその特徴を的確に選び出し、「考えつよシート③」に論理的に表現できている。</p> </div>
4 本時の学習を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。	10	<p><u>4</u>について</p> <p>○それぞれ考えた理由について、多様な考えをもてた数名の生徒の「考えつよシート③」を実物投影機に映すことで、幕府を開く理由について多面的・多角的な考え方があることに気付かせるようにする。</p> <p>○次時では、鎌倉時代の武士と農民について学習していくことを説明する。</p>

社会科学学習指導案(略案)

○ 本時の学習 1年歴史「武士の台頭と鎌倉幕府」(第4/7時の学習)

(1) ねらい 鎌倉時代の武士と農民の特徴を調べることによって当時の武士や農民の生活の様子を理解し、自分がその時代に生活しているとしたらどちらの立場を選ぶか判断し、その理由を考えることができる。

(2) 準備

「考えつよシート④」、教科書、資料集、パソコン、プレゼンテーションソフト、実物投影機、プロジェクタ、スクリーン

(3) 展開

学 習 活 動	時間	学習活動への支援等
1 武士と農民のどちらが いいか(本時のめあて)につ いて考え、その理由を発表す る。	5	<u>1について</u> ○鎌倉時代の武士と農民について学習することを伝え、本時のめあてである「 鎌倉時代に生きるとしたら、武士と農民のどちらがいいですか 」を示し、初発の考えを発表できるようにヒント等を与えて支援する。 ○武士に関しては、第一時で調べているので、それを参考にして考え、発表するよう助言する。 ○農民に関しては、既習知識を活用し発表するよう助言する。
2 鎌倉時代の土地の支配と、 御成敗式目、民衆の様子につ いて教師の解説により知る。	15	<u>2について</u> ○鎌倉時代の土地支配の様子が分かるよう、下地中分の資料を活用して説明する。 ○武士の生活は武芸の鍛錬や裁判の基準となった御成敗式目を中心に、民衆の生活については、農業生産の高まりや市の発達の様子を中心に当時の武士・農民の家の様子をプレゼンテーションソフトで示し、対比して理解できるようにする。
3 もう一度武士と農民のど ちらがいいか、資料からそれ ぞれの特徴を調べ、自分の考 えをまとめる。	20	<u>3について</u> ○武士、農民の特徴をまとめる際に、「考えつよシート④」を活用し、当てはまる項目に資料から分かったことを記入するよう指示する。 ○資料から読み取った内容を書き表した「考えつよシート④」を見て武士と農民の2つの立場を比較し、自分の意見をまとめるよう助言する。
		<p style="text-align: center;">『本時の評価項目と規準』</p> <p style="text-align: center;">(◆は「おおむね満足できる」状況 ◇は「十分満足できる」状況)</p> <p>【思考・判断】</p> <p>◆武士・農民について資料をもとに調べて、それぞれの特徴を考えている。</p> <p>◇武士・農民について資料をもとに調べて、それぞれの特徴について多面的・多角的に考えている。</p> <p>【資料活用の技能・表現】</p> <p>◆武士・農民の特徴について資料から選択・活用し、「考えつよシート④」に記した内容から自分の考えを表現できている。</p> <p>◇武士・農民の特徴について資料から適切に選択・活用し、「考えつよシート④」に記した内容から自分の考え論理的に表現できている。</p>
4 本時の学習を振り返り、次 時の学習への見通しをもつ。	10	<u>4について</u> ○それぞれ考えた理由について、多様な考えをもった数名の生徒の「考えつよシート④」プリントを実物投影機に映すことで、様々な考え方があはることに気付かせるようにする。 ○次時では、鎌倉文化について学習していくことを説明する。

社会科学習指導案(略案)

○ 本時の学習 1年歴史「武士の台頭と鎌倉幕府」(第5/7時の学習)

(1) ねらい 鎌倉時代の文化について理解し、その中の鎌倉仏教について、どの宗派が自分の考えに合うか判断して、その理由を考えることができる。

(2) 準備

「考えつよシート⑤」、教科書、資料集、パソコン、プレゼンテーションソフト、実物投影機、プロジェクタ、スクリーン

(3) 展開

学 習 活 動	時間	学習活動への支援等
1 家の近くのお寺の宗派について、知っている生徒は発言し、そこから既習の仏教について復習をする。	5	<p><u>1</u>について</p> <p>○既習している仏教の天台宗・真言宗については簡単に説明し、復習させるようにする。</p> <p>○家で信仰している宗教については触れず、生徒が差別的な意識をもつことがないように十分配慮する。</p> <p>○鎌倉文化、特に仏教について学習することを伝え、本時のめあてである「鎌倉仏教の中で、あなたの考えに最も合うものを一つ選びなさい」を示す。</p>
2 鎌倉時代の文化について知る。	15	<p><u>2</u>について</p> <p>○鎌倉仏教に関しては、主な人物・宗派名が確認できるようプレゼンテーションソフトを活用し、音声も交えながら整理して説明する。</p> <p>○鎌倉文学について、プレゼンテーションソフトを用いて「平家物語」の朗読を一部聞かせ、琵琶法師が伝えた「平家物語」の雰囲気を体感させるようにする。</p> <p>○鎌倉美術については、代表的な東大寺南大門の金剛力士像を取り上げ、プレゼンテーションソフトを活用し、力強いその姿を読み取れるよう提示する。</p>
3 どの鎌倉仏教の宗派が自分の考えに合っているか、資料からそれぞれの宗派の特徴を調べ、自分の考えをまとめる。	20	<p><u>3</u>について</p> <p>○鎌倉仏教の特徴をまとめる際に、「考えつよシート⑤」を活用し、当てはまる項目に、資料から分かったことを記入するよう助言する。</p> <p>○資料から読み取った内容を書き表した「考えつよシート⑤」を見てそれぞれの宗派を比較し、自分の意見をまとめるよう助言する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>『本時の評価項目と規準』</p> <p>(◆は「おおむね満足できる」状況 ◇は「十分満足できる」状況)</p> <p>【思考・判断】</p> <p>◆鎌倉仏教について調べ、それぞれの特徴について考えている。</p> <p>◇鎌倉仏教について調べ、それぞれの特徴について多面的・多角的に考えている。</p> <p>【資料活用の技能・表現】</p> <p>◆鎌倉仏教について資料からその特徴を選択・活用し「考えつよシート⑤」に記入して、自分の考えを表現できている。</p> <p>◇鎌倉仏教について資料からその特徴を適切に選択・活用し「考えつよシート⑤」に記入して、自分の考えを論理的に表現できている。</p> </div>
4 本時の学習を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。	10	<p><u>4</u>について</p> <p>○それぞれ考えた理由について、多様な考えをもてた生徒の「考えつよシート⑤」を実物投影機に映すことで、鎌倉仏教について多面的・多角的な考え方があることに気付かせるようにする。</p> <p>○次時では、元寇について学習していくことを説明する。</p>

社会科学習指導案(略案)

○ 本時の学習 1年歴史「武士の台頭と鎌倉幕府」(第6/7時の学習)

(1) ねらい 元寇の内容を知り、当時の東アジアの情勢や元・幕府のそれぞれの立場を理解するとともに、自分が当時の武士であるなら元の軍勢に対してどう戦うか考えることができる。

(2) 準備

「考えつよシート⑥」、教科書、資料集、パソコン、プレゼンテーションソフト、実物投影機、プロジェクタ、スクリーン

(3) 展開

学 習 活 動	時間	学習活動への支援等
<p>1 元寇について知っていることを発表し、元寇が始まるきっかけとなったできごとについて学習することを知る。</p>	5	<p><u>1について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校で既習している内容でもあるので、これまでの知識を活用し、その範囲で自分なりの意見をさらに引き出せるよう配慮する。 ○元寇が二度あり、天候が味方したことで幕府軍が元軍の侵入を防ぐことができたことを確認する。 ○元寇について学習することを伝え、本時のめあてである「あなたが日本の武士なら、元の軍勢に対してどう戦いますか」を示す。
<p>2 元と元寇の様子について教師の説明により知る。</p>	15	<p><u>2について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○元と元寇の内容については、できごとの流れをおさえ、要点を分かりやすく説明する。 ○元の勢いや、日本を支配下におくために(国交を開くために)元が鎌倉幕府へたびたび使者を送っていたことを伝え、当時の日本をとりまく東アジアの状況をつかませるようにする。 ○具体的に蒙古襲来絵図をプレゼンテーションソフトで示し、元寇の戦いの様子を説明する。
<p>3 自分が日本の武士ならば元の軍勢とどう戦うかを考え、資料を活用してまとめる。</p>	20	<p><u>3について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料から元寇の原因や、互いの戦力、フビライ・北条時宗の考えなどを読み取り、比較・整理して「考えつよシート⑥」にまとめ、自分の考えを表すことができるようアドバイスを与えながら、記入させるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>『本時の評価項目と規準』</p> <p>(◆は「おおむね満足できる」状況 ◇は「十分満足できる」状況)</p> <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆元寇が起こった理由について調べ、その理由を考えている。 ◇元寇の理由について調べ、その理由を多面的・多角的に考えている。 <p>【資料活用の技能・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆整理した内容から判断し、どのように元の軍勢と戦うか自分なりの意見を表現できている。 ◇整理した内容から的確に判断し、どのように元の軍勢と戦うか自分なりの意見を論理的に表現できている。 </div>
<p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。</p>	10	<p><u>4について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれ考えた理由について、多様な考えをもてた生徒の「考えつよシート⑥」を実物投影機に映すことで、元寇へのとらえが多面的・多角的に広げられるよう配慮する。 ○次時では、鎌倉幕府が滅亡していく様子について学習していくことを説明する。



社会科学学習指導案(略案)

○ 本時の学習 1年歴史「武士の台頭と鎌倉幕府」(第7/7時の学習)

(1) ねらい 元寇後の幕府の失政から幕府に対する不満が高まり、鎌倉幕府が滅びる様子を知るとともに、鎌倉幕府末期の大きな社会の変動の様子を理解して、鎌倉幕府が滅びないようにアドバイスを送るとしたらどんなアドバイスをするか考えることができる。

(2) 準備

「考えつよシート⑦」、教科書、資料集、パソコン、プレゼンテーションソフト、実物投影機、プロジェクタ、スクリーン

(3) 展開

学 習 活 動	時間	学習活動への支援等
1 元寇について復習し、その後の世の中について予想してみる。	5	<p><u>1について</u></p> <p>○発問をして、既習の元寇に関する内容を確認する。</p> <p>○元寇後の日本の様子を元寇で活躍した御家人への恩賞に焦点を当て、どのような状況であったかを予想させることで、学習への関心・意欲をもてるようにし、本時のめあて「鎌倉幕府が滅ぼされないようにするために、あなたなら幕府にどんなアドバイスをしますか」を示す。</p>
2 元寇後の幕府をとりまく世の中の様子について教師の説明により知る。	15	<p><u>2について</u></p> <p>○悪党の出現や後醍醐天皇を中心とする朝廷の動きなど、幕府に不満をもつ者が多く現れたことに気付かせ、幕府が滅亡する原因が数多く出てきたことを説明する。</p> <p>○鎌倉時代の土地の分割相続についてふれ、御家人を救うために出した徳政令について資料を活用して理解させるようにする。また、徳政令の影響で逆に御家人の不満が高まった様子をつかませるようにする。</p> <p>○プレゼンテーションソフトを活用した説明により、鎌倉幕府を支えていた御恩と奉公の制度の崩壊が、鎌倉幕府の滅亡につながったことに気付かせるようにする。</p>
3 鎌倉幕府が滅びないようにアドバイスを送るとしたらどんなアドバイスをするか資料を参考にして、自分の考えをまとめる。	20	<p><u>3について</u></p> <p>○これまで活用してきた「考えつよシート」の手法を参考にして取り組むことを助言し、まとめる作業が進めやすくなるよう配慮する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>『本時の評価項目と規準』 (◆は「おおむね満足できる」状況 ◇は「十分満足できる」状況)</p> <p>【思考・判断】</p> <p>◆鎌倉幕府の滅亡の理由について調べて、その特徴を整理して幕府へのアドバイスを考えている。</p> <p>◇鎌倉幕府の滅亡の理由について調べて、その特徴を整理して資料を基に、幕府へのアドバイスを多面的・多角的に考えている。</p> <p>【資料活用の技能・表現】</p> <p>◆鎌倉幕府の滅亡の理由について調べるための資料を選択・活用し、幕府へのアドバイスを表現している。</p> <p>◇鎌倉幕府の滅亡の理由について調べるための資料を適切に選択・活用し、幕府へのアドバイスを論理的に表現している。</p> </div>
4 本時の学習を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。	10	<p><u>4について</u></p> <p>○それぞれ考えた理由について、多様な考えをもてた生徒の「考えつよシート⑦」を実物投影機に映すことで、元寇へのとらえ方が多面的・多角的に広げられるよう配慮する。</p> <p>○次時では、鎌倉幕府後の新しい政治が始まった様子について学習していくことを説明する。</p>